

平成 23 年 5 月 12 日(木)

コンテナお風呂支援先の宮城県東松島市・小野市民センターについて

福永博建築研究所

■東松島市概要

宮城県東松島市は今回の震災により大きな津波被害を受けた自治体であり、震災から2ヶ月経つ現在でも多くの市民が避難所生活を余儀なくされている。

隣接する石巻市が被害の甚大さから多くのボランティアを呼んだことに比べて、被害が目立ちにくい東松島市はボランティアが不足しているという。

東松島市は震災以前から周囲の自治体に比べて高齢化率が高く、避難所生活では高齢者介護に伴う支援を必要としている。

■小野市民センター概要

東松島市の中でも最大の避難所規模を持ち、現在180名が避難している。その内、70歳以上が約50人を占める。

市の指定避難所施設であり、今後も周囲の小規模避難所の吸収が予想され、避難者の数は増える可能性が高い。

入浴については、当初より米軍・自衛隊の簡易シャワーが設置されているが、十分な数ではなく、週に数回シャワーを浴びる程度である。特に高齢者の入浴については、シャワーだけの入浴を好まない方や、介護の必要な方もあり、十分な利用がされていないのが現状である。高齢者からは浴槽に浸かりたいという要望が高いとのことである。



小野市民センター エントランス

■地図



小野市民センター

住所: 〒981-0303

宮城県東松島市小野字新欠下(オノアザシンカケシタ)36

TEL/FAX:0225-87-2067

交通:通常時は仙石線「陸前小野」駅から徒歩20分だが、
現在仙石線は仙台～東塩釜間のみ運営。その先は臨時バスとなる。
「矢本」駅が臨時バスの最寄り駅となる。

■設置経緯

震災支援・復興を目的としたNPO法人日本の道(代表・丸谷博男)の仙台市メンバーである株式会社ライフサポートシステム代表取締役の五十嵐友哉氏の案内により、東松島市のボランティアセンターを訪ねる。ボランティアセンターは福祉協議会(地域福祉課長・千葉貴弘氏面談)内に設置されている。

センターの運営に関わるNPO法人CFF(ケアリング フォー ザ フューチャー ファンデーション ジャパン)の被災地支援担当の石井丈士氏にコンテナお風呂の支援先として適した避難所を尋ねた。石井氏は2週間前から東松島市の支援に入り、市内の各避難所を訪問。特に高齢者のお風呂が不足している現状を苦慮しており、避難者の数も多く最も支援の必要である小野市民センターを紹介いただいた。

5/10(火)に石井氏と福永博建築研究所(東京オフィス)鎌田にて、翌5/11(水)は五十嵐氏と鎌田にて小野市民センターを訪問し、センター館長の大友晋也氏とセンター事務長の千葉義信氏に、支援内容を申し出、快諾を頂く。

千葉氏より東松島市役所へ設置要望の打診を頂き、当日中に市役所からも了解を得る。小野市民センターは指定避難所の為、センターが主体的に運営を任されており、お風呂設置による電気・ガス・水道代についての補填についての許可となる。

□関係者名刺

■設置場所



■インフラ設備

上水道…通常の蛇口が近接されている。水圧は通常使用圧を目視確認。

排水…周辺に3カ所ある。

電気…ドラム式電源コードリール使用予定。

ガス…現状では20キロプロパンガス2本を使用中。



マイクロバスの大きさがコンテナとほぼ同じ。



前面、コンテナ吊り下ろし部スペース



水道蛇口



排水①



排水②



排水③